

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ファーストシーンドリーム南篠崎			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援との連携により、長期的に一貫した療育をすることができる。	児童発達支援と共通の活動を行う機会があり、異年齢交流ができる。	他事業所と合同での活動の展開。
2	心の成長をテーマにした療育。	集団での療育を行っており、子ども達同士で問題解決ができるような声かけを行っている。	活動時における児童の組み合わせなど、習熟度に応じてグループ分けを行うことでコミュニケーションの充実を図っている。
3	スモールステップによる課題設定。	視覚的な掲示を用いて、それぞれに合った形で自己決定ができる。	児童が見通しを立てられる支援を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育への対応が不十分。	集団療育をメインに行っているため、個別療育へのニーズ対応が難しい。	集団の中でできる個別の対応について、再度検討をしている。
2	地域との連携が弱い。	感染症対策などの理由から、地域との交流を控えてほしいというニーズもあるため、地域との連携をしていない。	今後についてはニーズも踏まえて検討していく。
3			